

令和3年4月5日

学生各位

香川県立保健医療大学長

新型コロナウイルス「感染拡大防止集中対策期」における注意喚起について(依頼)

香川県では、4月に入っても感染が急激に拡大しており、こうした状況を何としても食い止めるため、24日(土)まで「感染拡大防止集中対策期」に位置づけられました。

新学期を迎えるにあたって、学生の皆さんは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「感染しない」「感染させない」ことを強く意識して、以下のことを遵守して、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクを高めるような行動を慎み、体調管理に努めるよう理解と協力をお願いします。

○県内における不要不急の外出については、慎重に検討すること

○他の都道府県との不要不急の往来については、慎重に検討すること

※直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数が15人以上の地域への移動は特に慎重に検討すること

※県外に移動した場合は、帰県後14日間は行動記録を取ること

○国の「まん延防止等重点措置」期間中(4月5日(月)から5月5日(水)の対象区域(宮城県、大阪府及び兵庫県の一部区域)への不要不急の往来はできる限り自粛すること

○外出する場合は、適切な感染防止対策を徹底して行動すること

○発熱等の症状がある場合は、都道府県をまたぐ移動はもとより、外出を控えること

○業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等に基づく感染防止策が徹底されていない施設等への外出を控えること

○大人数での会食や飲み会を避け、会食をする際には、少人数・短時間で、配席を工夫し会話の際はマスクを着用するとともに、座席間隔の確保や換気などの三密回避を徹底すること

○大声を出す行動(飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど)を自粛すること

○感染リスクが高まる「5つの場面」(別添参考)に留意し、そうした場面での会食については、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を行うこと

また、登校にあたっては、引き続き、以下にご留意いただきますよう理解と協力をお願いします。

なお、今後の状況変化に応じて、新たな対応を取る場合は、ホームページでお知らせしますので、確認をお願いします。

＜登校に際しての注意事項＞

①登校前に体温を測定し、体温や健康状態を確認・記録する。

②発熱やのどの痛み、咳等の風邪症状が見られる時は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談するとともに、学年担任の教員に連絡して休む。

③息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状がある場合は、「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に相談し、学年担任の教員又は本学教務担当に電話で報告・相談を行う。

「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」

電話番号 0570-087-550 (専用ナビダイヤル)

相談日時 土曜日・日曜日・祝日を含む毎日24時間

- ④マスクを着用して登校し、手洗いやアルコールによる手指消毒、咳エチケットを心がけ、感染防止に注意を払う。
- ⑤自宅で検温できなかった学生は、事務局にあるセンサー式の体温計で体温チェックを行う。
- ⑥学内では可能な限り人との間隔を開けて行動するほか、大人数で集まらないように心がける。

<図書館について>

図書館の利用にあたっては、感染防止策（流水と石鹸による手洗い、アルコールによる手指消毒、マスク等の咳エチケット、こまめな換気、身体的距離の確保）の徹底にご協力ください。

<学食について>

食堂の利用にあたっては、感染防止策（流水と石鹸による手洗い、アルコールによる手指消毒、マスク等の咳エチケット、こまめな換気、近距離での会話の禁止など）の徹底にご協力ください。なお、食堂以外（講義室等）で飲食する場合も食堂と同等の感染防止策を講じるようお願いします。

<サークル活動等について>

学内におけるサークル活動については、学内・学外を問わず、不特定多数が集まるイベント等での活動を禁止するとともに、活動の実施にあたっては、活動日時や活動場所、活動内容、参加者を記録するなど、感染防止策の徹底にご協力ください。

<出席停止（公休）の扱いについて>

以下に該当する場合は、出席停止（公休）の扱いとしますので、絶対に登校しないでください。

○出席停止（公休）とする目安

- ・感染が判明したものの者（指定された期間は出席停止）
- ・感染者の濃厚接触者に特定された者（指定された期間は出席停止）

上記の場合のほか、発熱等の風邪症状がみられる者は、学年担任の教員に電話で報告・相談するとともに、手続き等については、教務・学生担当の指示に従ってください。

公休願の作成の際に必要なので、出席停止中の体温・健康状態などを記録しておいてください。

◆香川県感染情報

https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1_6/dir1_6_2/wt5q49200131182439.shtml

【本学の連絡先】087-870-1212（平日午前8時30分～午後5時15分まで）

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

